

大野第二小学校

1. 地層の観察

(1) 観察する場所

学校前のバス停の崖

(2) 崖から離れて、地層の全景が見通せる所に立って、地層を観察する。

① 地層の出ている崖全体をスケッチする。

② 地層の色や、地層の重なり方に注意して、地層を書き入れる。

③ この小山は、これらの地層がつみ重なって、できあがっていることを理解する。

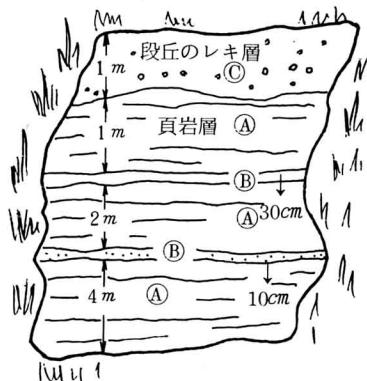
(3) 地層に近づいてその特徴を調べる。
Ⓐの層の表面は、細かに割れではがれる性質があります。ちょうど粘土が乾燥した時のようにです。

この地層は粒度も細かく、頁岩層です。

ⒷはⒶの地層にうすく(10~30cmの厚さ)はさまっています。

表面の色は淡黄色で、火山灰を含む砂層です。

Ⓒはよく川原で見られるようなレキを含むレキ層で、下の頁岩層との境は、注意してみるとデコボコしています。このことは、頁岩層が浸食され、デコボコになってから、その上にレキが積ったことになります。このレキは段丘性のレキ層で、ごく近い時代(約1万年前)のたい積です。



2. 川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる川原